

萩にあしあと残そよ

「公私ともに徐々に活動再開」

令和2年(2020)  
7月1日発行  
-第9号-  
発行：大塚好一

出歩くたびに色々発見  
まだまだ興味は尽きません

曆どおりに梅雨入りし、湿度の高い日は寝苦しいです。一方、晴れると日差しは強烈で、先日は帽子を被らずに自転車で出かけてしまい、額の皮がむけてしまいました。

日を繰り返す中、野菜作りをしているご近所さんから玉ネギ・キュウリ・インゲン・サニーレタスなどをもらい、おいしくいただきました。畑にいらっしゃる時には、時々世間話の相手にもなってくださいるし、ありがたい存在です。



「ま・な・び の記録」参照  
現在も発掘調査が進行中です

県内はもとより、県をまたいだ移動もOKになりましたが、なかなか積極的になれないと感じます。しかし、自分が動かずして「萩にお客様に来てほしい」というのも可笑しな話。屋外を中心に出かけていこうと思います。

住まいから一番近い世界遺産の構成資産がここ、恵美須ヶ鼻造船所跡。外国船の来航が多くなった幕末期、幕府の命により萩藩が二隻の木造洋式帆船を建造した場所です。

詔念館・旧宅（長門市三隅）を訪ねました。

一口に言えば、幕末の萩藩の財政・軍制・教育の大改革を成し遂げる原動力となつた人物となりますが、それだけ不足が多すぎます。「村田清風を知らずして明治維新を語るべからず」と思いました。



長州も偉大な人物が多い！  
近くの墓所に歩いて行けます

写真は恵美須神社から撮影しました。この翌日は漁師らが中心の恵美須神社祭礼日ということで、周辺の釣り船に大漁旗がなびいていました。やはり今年は祭りも簡素化されたそうです。そつと神社に豊漁と安全を祈りました。

# ◆村田清風記念館・旧宅◆

◆防災青年団の活動◆  
後小畠防災青年団の団長から声がかかり、船着き場沿いにある広場の草刈りに参加しました。午前中、約三時間の作業でしたが、久しぶりに町内の先輩たちとも会えて、正直なところ嬉しかったです。

一方、八月にこの広場で予定されていた町内会の盆踊りは中止が決定しました。

「仕事はどうだい？」  
六月も休業が続きましたが、  
ようやく週一日出社となりま  
した。萩の本社で丸々二か月  
休業したのは私だけでした。  
事務・配達・製造部門はスケ  
ジュールを組んで交代で休み、  
営業の先輩も週に一度は出社  
していました。ついつい、取  
り残されているような不安を  
感じる日々でした。  
そんな中、取り組んだ得意

(六月四日・草取り)

の写真はがきでした。  
郷里塩原で初夏に撮影された滝の写真を使つたはがきを見て「ほつとしていただけたら幸いです」と添え、一枚一枚手書きしました。



塩原の名瀑の写真はがきをお届けすることができました

… 薦にあしあと残そよ 令和2年(2020)7月1日発行 第9号 発行:太塚好一 …

# 「ま・な・び の記録」

世界遺産のある町・萩①  
『恵美須ケ鼻造船所跡』

◆当時の時代背景など

江戸時代は、諸藩の水軍力を制限するため、幕府は大船の建造を禁止していました。しかし、嘉永六年（一八五三）のペリー来航によつて、歐米列強に対抗するには大船の建造が必要と認識し、禁止令は撤廃されました。

水戸・薩摩・佐賀など有力な諸藩が洋式軍艦の建造に取り組むことになったのです。萩藩においても軍艦製造の検討がなされました。しかし、当時は相次ぐ風水害などで出費が増加しており、極度の財政難に陥っていたため、初めは消極的な姿勢を取らざるを得ませんでした。

この状況下、藩を動かしたのは木戸孝允（桂小五郎）でした。洋式造船技術を学んだり、造船所を視察したり、人脈を開拓したりして、準備を進めていったのです。

◆建造された二隻の軍艦

◎丙辰丸(へいしんまる)

安政四年（一八五七）完成

ロシワ式スクリナリ

四〇二

↓マストは一本。進

に對して帆を縱に張るス

） タイル。

召一大招大

伊豆の戸田村（現沼津市）でスクーナー建造経験のある船大工、高崎伝蔵らを招いて建造しました。

★釘などの鉄は、大板山たら場から供給されました。

◎庚申丸（じゅうしんまる）  
万延元年（一八六〇）完成  
オランダ式コットル  
長さ 約四三・六m  
↓マストは三本。進行方向  
に対し帆を横に張り、  
最後尾の帆だけ縦に張る  
スタイル。

オランダ式造船技術を指導できる長崎の船大工駒次郎らを招いて建造しました。

★船の設計は、長崎の海軍伝習所で学んだ藤井勝之進が担当しました。

◆造船所にあつた施設など



この広場に作業小屋が建ち  
造船が行われていた

- ・ 絵図木屋：原寸大の図面を作成した原図場
- ・ 切組木屋：図面から木形を作つて木取りした部材を組み立てる場所
- ・ 蒸気製作木屋：木材を入れて蒸す、蒸気箱を設置した建物（蒸し曲げけロシアの造船技術）
- ・ 木挽木屋：製材場所
- ・ 綱類製作木屋：綱類を製作した場所
- この他、鍛冶木屋、・高崎伝蔵居所・大工居所などの表示があります。（木屋＝こや）

造船所の見取り図が残つて  
いるので、作業場などがどの  
よう配置されていたかが分  
かります。現地を訪れると、  
それぞれの建物の推定位置が  
示され、幅や長さで規模を想  
像することができます。

◆世界遺産登録のポイント

◆世界遺産登録のポイント

## ◇世界遺産の構成資産を 一緒に学びましょう!!

◇世界遺産の構成資産を  
一緒に学びましょう!!

A photograph showing a long, low stone wall made of large, irregular stones extending into a body of water. In the background, there are green hills under a clear blue sky.

なく、とても貴重な歴史の証  
人だからなのです。

② 日本の造船近代化の最初  
期の様相を伝えている。

異なる技術（ロシア式・オ  
ランダ式）の造船を同じ  
場所で行つた。

二隻目の庚申丸をもつて途絶えます。それは、以後主にイギリス商人から蒸気船を輸入するようになつたからです。

しかし、恵美須ケ鼻造船所跡は、以下に示す理由で世界遺産の構成資産に選定されていました。四日市開港の「下

伝統的な技術と融合させ、急速な重工業の産業化に成功した…という過程に価値を見出しているからなのです。

つまり、日本の産業革命ストーリーを、各構成資産を巡りながら読み解いていくことに、この世界遺産の面白みがあると理解していただければと良いのです。

萩市の構成資産は序章部分です。西洋技術を導入する必要性を感じ、試行錯誤を重ねる様子に思いを馳せながら、一緒に学んでいきましょう。

構成することから、天守閣のような象徴的なものが見られるというものではありません。それは、日本が一九世紀半ばから二〇世紀初頭にかけての五〇年という短期間で、西洋の技術を吸収し、かつ国内の

… 株にあしあと残そうよ 令和2年(2020)7月1日発行 第9号 発行：大塚好一 …